

# 令和3年度第1回千葉市文化芸術振興会議議事録

市民局生活文化スポーツ部文化振興課

## 1 日時

令和3年4月20日（火） 午前9時30分～

## 2 開催場所

千葉市議会 議会棟3階 第3委員会室

## 3 出席者

（委員）神野委員長、種谷副委員長、椎原委員、関委員、瀬崎委員、高梨委員、  
廣崎委員、桜井委員、谷委員

（事務局）神田生活文化スポーツ部長、小名木文化振興課長、川口文化振興課長補佐、  
福本文化振興班主査、安藤主任主事、鈴木主任主事

## 4 議題

（1）文化施策の評価について（令和2年度評価対象事業）

（2）令和3年度千葉市芸術文化振興事業補助金について

## 5 議事の概要

（1）文化施策の評価について（令和2年度評価対象事業）

令和2年度評価対象事業について1次評価シートの報告と意見交換を行った。

（2）令和3年度千葉市芸術文化振興事業補助金について

千葉市芸術文化振興事業補助金の補助事業選定にあたり講評・意見交換を行った。

## 6 会議経過

<事務局説明>

【神野委員長】

それでは、まず議題1の「文化施策の評価について（令和2年度評価対象事業）」に進みたいと思います。こちらについて事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

【神野委員長】

今の説明について何かご質問はありますか。

それでは、1次評価シートの説明の方に進みます。説明を含め1事業当たり15分間。  
6事業全体で1時間半を予定しております。

では、「舞台芸術創造ワークショップ」について千葉市文化振興財団から1次評価シートの説明をお願いします。

## <文化振興財団説明>

### 【神野委員長】

ありがとうございました。では2次評価シート作成のための討議に入りたいと思います。事務局から説明がありましたとおり、1次評価シートの内容について、ご議論いただきます。評価の内容についてご質問、ご意見、今後のアドバイスを含めて討議を行います。それでは、討議の方に入りますので、ご質問等、よろしくお願いいたします。

### 【神野委員長】

入場料収入で賄えているんですか。

### 【文化振興財団】

普及的事業のため、入場料だけでは賄えておりません。

### 【神野委員長】

いろいろな考え方があると思いますが、コロナ禍の中で、より活性化するような運営の仕方を考えるべきという見方もできますし、事業実施に意味があるのだから、持ち出しは多いけれどもこの形で継続して、成果を確認することができたと考えることもできます。内容的に充実していたという評価の割に、3がずっと続いているので、4がもう少しあってもよかったのではないかと思いました。いかがでしょうか。

### 【廣崎委員】

私も同じです。満足度やアンケートを見ると、結構皆さん充実して実施したという評価があるのに、なぜ3の評価ばかりなのか、もっと良い評価でもいいのではないかと思いました。コロナの中で、すごく大変であったと思うんですけど、消毒などの対応を適切に行って、問題なく実施できたという実績もありますし。

### 【瀬崎委員】

客席数のキャパが難しいのであれば、2回公演を検討するべきではないでしょうか。こどもの体験機会が少なくなったのは気になります。

### 【文化振興財団】

ダンスワークショップの企画段階では、国や市町村のガイドラインの人数制限の前に、ダンスはできないと制限がありました。定員も通常の半分でかつ、募集期間も短くなってしまいました。

消毒等に関しても、消耗品が手に入らない時期でした。検温、消毒、マスク等対策について留意しながら実施しました。

また、会場は1.5mや2m取れないものですから、本来であれば会場制限は2分の1ではありますが、安定性を考慮した結果、このキャパになりました。

### 【神野委員長】

成果発表はオンラインで発信されてましたか。

【文化振興財団】

この事業では準備の関係で難しかったのですが、他の事業ではオンラインを活用して配信を始めました。

【神野委員長】

お客さんが見たいときに見られますし、参加者の頑張りを見られるので、オンライン配信を検討してもらえると良いと思います。

【関委員】

お客さん側がコロナ禍で制限するのはあると思いますが、この事業の目的としてはダンスに親んでもらうものなので、参加者が落選した際に、興味を無くしてしまのではないかと、という恐れを感じます。

何名なら実施可能なかはわかりませんが、もう少し多い人数で実施できたのではないかと、思いました。

コロナ禍というのは理解していますが、残念だったという印象はあります。

【神野委員長】

内容的に精査して、2部構成にし、参加者をそれぞれ別の回にというやり方もできるかもしれないですし、公演自体も2回公演という対応もできるかもしれないので、まだ工夫の余地があるように思えました。

【廣崎委員】

この時期本当に大変な時期だったんですね。今であれば実施が可能だと思うんです。

【瀬崎委員】

実施の際はマスクをして踊っていたんですか。

【文化振興財団】

感染のリスクがありますので、マスクしていただいて、実施しました。

【谷委員】

限定された範囲ではあったが実施できた事例として、記録を残すと良いと思います。

【神野委員長】

各施設の工夫を集約して、シェアするというのも非常に大事だと思います。

先ほどからの議論の中で、こども・若者の戦略については4でいいと思いました。

そして3-1です。コロナに関わりなく内容的に良かったのではないかと、いう気はします。ただ、もっと余地があったという部分も含めれば、ほぼ妥当でいいと思います。

あと、意見として、1回限りのプログラムではなく、親しむということに加えて、主体性も持てるような提案があると、より良くなると思います。

評価シートの2-2と3-1は4でよろしいですか。

他は、事業のねらいとアプローチは、何もない状況であれば妥当かもしれないけれど、もっと工夫できたかもしれないというところでほぼ妥当でいいと思います。

【高梨委員】

「どこでこのイベントを知りましたか」のアンケート結果から、「例年」あるいは「毎年」が多いので、市政だより以外の別の広報も検討していただき、裾野を広げていただきたい。

【神野委員長】

広報について市職員の方は、市政だよりと言いますが、若い人対象だと市政だよりは興味を持たれないので、チラシやポスターの方が効果があるかもしれません。

世代にあった広報戦略を取っていく必要があると思います。ありがとうございました。

続きまして初めての劇場体験ツアーについて、千葉市文化振興財団から1次評価シートの説明をお願いしたいと思います。

<文化振興財団説明>

【神野委員長】

ありがとうございます。それでは討議に入りたいと思います。

中止になった事業をどう評価するかっていうのは結構難しい問題で、実施していないので単に作文を評価するという形にならざるをえないというところが、何とも、歯がゆいですあと先ほどもちょっと議論になったんですけども、実施する目的に対して現時点でのコロナの状況がある中で、何かしらの実現する方法というのがあったのではないかということについて、この評価の中では指標として存在していないところが、また難しいです。

【椎原委員】

そうでしょうか。もう予算を執行してるのであれば、一応事業をしているということになると思います。刷ったチラシを1万枚配布した事実は、事業費を幾らで使っていて、その波及効果で9名の応募があったっていうことは評価の対象になるのではないかと思います。

実際にいくらぐらいの執行額だったのでしょうか。

【文化振興財団】

チラシが3万円で、開催直前だったため出演者に関する費用支払いと、問題の作成料はお支払いしました。

【椎原委員】

チラシを配布し、9名の応募があったという結果は、評価対象ではかなり低いと思います。

【谷委員】

昨年度の会議の際、この企画を知って視察したいと思いました。しかし、実施が感染拡大の時期と重なり、参加を断念せざるをえませんでした。近年、企業PRの方法として工場見学が人気ですが、舞台裏を見せるアイディアは秀逸だと思います。

【関委員】

舞台の芸術の裏側の装置に触れてもらう目的として、映像を作ってコンテンツ化することはいいと思いますが、今回のイベントを将来の人材を掘り起こすためSNSを活用して動画配信してもよかったかと思います。

今後は、SNSを活用した実施の方法を考えて活性化を図っていただきたい。

【文化振興財団】

当時は配信までは検討しておりませんでした。今後は検討していきたいと思います。

【瀬崎委員】

対象は例年通りですか。

兄弟で来れるようにするとか、学年ごとにと柔軟に設定していますか？

【文化振興財団】

昨年は小学校4年生から6年生のお子さんと保護者でした。今年からは児童のみの参加に変更しました。

学年については、あまり年次が低いとこちらの意図の理解が難しいと思いました。

【神野委員長】

中止は妥当であったと思いますが、中止して何も実施しなくてよいのか、事業として価値があると評価しているのであれば、残っている事業費を使用して、実現のために別の方向も検討して欲しかったです。

ただし、この状況の中で、普通の基準で評価することは妥当ではないので括弧つきの評価の形にするべきかと思います。加えて、対象年齢等、今後の状況の中で柔軟に考えていくということも必要かもしれません。

また、広報としてチラシを配るのがいいことなのかも今後検討して欲しいです。

ありがとうございました。次にみはまこどもまつり「キャラメルマシンのスーパーサイエンスマジックショーについて、ちばアートウインド運営企業体から1次評価シートの説明をお願いします。

<ちばアートウインド運営企業体説明>

【神野委員長】

ありがとうございます。それでは、事業視察シートの説明をお願いします。

<事務局説明>

【神野委員長】

櫻井委員視察ありがとうございました。

それでは討議の方に入っていきます。ご意見、ご質問よろしくをお願いします。

【椎原委員】

もう少し4をつけてもいいと思います。具体的には、1-1、4-1、4-2です。

【関委員】

全部4でいいくらいです。劇場ホールというものを、遊び場みたいな形でとらえて、そこで遊びながら色々なことを体験してもらうというすごくいい企画だと思います。

【神野委員長】

コロナのガイドラインを自分たちが実践しそしてアドバイスすることは素晴らしい。具体例をお聞かせかせいただきたい。

【ちばアートウインド運営企業体】

ロビーをモデルケースとして対策を行い、利用者様にご利用いただく際にこのような形で実施すると安全に開催できませんということをお話したり、入場制限で空いている席に、演奏家の顔のイラストを貼るなど、ユーモアを交えながらの対策を行いました。演者の方、利用者様の両者から高い評価を頂戴しています。

【神野委員長】

視察シート内で指摘があった「YouTube 動画がついていなかった」のは何か事情があったのでしょうか。

【桜井委員】

動画がついていなかったのは1階の事務所とホール前です。入場する会場のホール前のところも、動画を流していただくと、実際にパフォーマンスをしてくれるという盛り上がりになると思います。

後方での鑑賞は演者の方の表情がわかりづらいので、スクリーンに投影などの工夫があると良いと思いました。

【ちばアートウインド運営企業体】

モニターには、ホールの案内や事業のプロモーションを毎日流すようにしております。当時はイベントがすべてなくなってしまっていたので、放映まで気が回らなかったところがございます。今後の参考とさせていただきます。

【廣崎委員】

公共施設が実施したアンケートとしては、回収率 38.6%という数値はすごく高いです。さらに回収率を高くするためにweb アンケートも検討されたら良いと思います。

【ちばアートウインド運営企業体】

こどもも回答できるアンケートについて若葉文化ホール分も併せて考えたいです。

【神野委員長】

続きましてわかばこどもまつりにつきましても1次評価シートの説明をお願いします。

<ちばアートウインド運営企業体説明>

【神野委員長】

ありがとうございました。若葉は、ホールでの開催を断念する代わりに配信という形で展開されたという話ですね。確認ですけれども、バルーンの方を配信し、べんてんやさんは配信されていないということですか。

【ちばアートウインド運営企業体】

来館は控えていただきまして、名古屋で収録を行ったものを配信いたしました。

【神野委員長】

視聴をされた方で、バルーンを見に行きたいという、何か展開はありましたか。展示しているところまでは配信の中では伝えていないのですか。

【ちばアートウインド運営企業体】

バルーンが1か月持つかどうかわからないものなので、動画では告知をしていません。展示はホールではなく、コミュニティセンターの方に展示しています。動画は、各アーティストのYouTubeチャンネルの方に置いていただいています。

【椎原委員】

再生回数で評価を判断するということになりますかね。配信やむなしの状況で、そのチャレンジ性は評価しますが、本来の動員数との比較が難しいです。

【ちばアートウインド運営企業体】

動員とその視聴という部分に関してイコールではないと我々も思っております。動画は同じ方や、作成者が確認で見ている回数も含まれると思いますので。

【神野委員長】

視聴数と来場者数を、同じものと論じることは無理があるので、別立てとして、条件が変わった中、このような展開をして成果が出ているという主張にとどめておいたほうが良い気がします。

また、どのような方々がどれだけ見ているのかっていうデータ分析が必要なのではないかと思います。

さらに、中止に切り換えた後の広報が大事だと思いますが、これは何かされたんですか。

【ちばアートウインド運営企業体】

事後の広報に関しまして定期的に広報データの発出、市内回覧版、及び千葉市内の皆さんの掲示板に継続告知しております。また、今年もこどもまつりを行いますので、チラシにも掲載したいと思います。

【神野委員長】

4-1の満足度は図れるのが微妙なところですね。アンケート等が実施されていないので判断が難しいです。視聴済みの方にアンケートを取ることもできないでしょうし。

カキコミなどはありましたか。

【ちばアートウインド運営企業体】

YouTubeですと動画の低評価・高評価が参考になるかもしれません。カキコミについては数件です。

【神野委員長】

本件については今後の課題として、評価に関してはペンディングしたような形が適切かと。

【椎原委員】

著作権はパフォーマーに帰属するんですか。

また、パフォーマーの YouTube チャンネルではなくて、若葉文化ホールでチャンネルを持ったほうが良いのではないのでしょうか。

**【ちばアートウインド運営企業体】**

制作に関しましては、若葉文化ホールで行っていますので、若葉文化ホールに帰属します。

若葉文化ホールのチャンネルも実は用意してあるんですが、入り口としてはアーティストから入る方が多いと思いますので、今回、一定期間は若葉文化ホールにしていたんですが、アーカイブに関してはそれぞれに預けたという形です。

ただしクレジットとしては若葉文化ホールと、タイトルとエンドロールに出しています。

**【神野委員長】**

ホールのブランディングというところで言うと、このようなテストで私たちが文化芸術発信をするということが、若葉文化ホールで確立できたら、若葉文化ホールのチャンネルにはそういうコンテンツが集まって、チャンネルから若葉文化ホールファンになって実際にホールに足を運ぶというサイクルを生み出すことも、長期的に見たら、可能な気がします。せっかくの挑戦なのでつなげて欲しいなという気もします。よろしいでしょうか。ありがとうございました

続けて千葉市美術館コレクション名品選 2020 の 1 次評価シートの説明をお願いします。

**<千葉市美術館説明>**

**【神野委員長】**

千葉市美術館がリニューアルをオープンして、常設展を観覧することができるスペースができて展開されている事業ということになります。

これについて委員の皆様方からご意見、ご質問、よろしくお願ひしたいと思います。

**【椎原委員】**

常設展と、特別展の入場者の比較について、ご提示いただいた資料では不足があると思われます。常設展の入場者数は特別展の入場者数も含んでいると思いますので、この数値では純粋に常設展の人数が算定できないかと。

**【千葉市美術館】**

常設展と特別展の入場者数はほぼ同等です。

**【椎原委員】**

特別展、例えば田中一村の展示にたくさんの方が来たとして、それですべての人が常設展に行かないと思うので、そのあたりの数値を明確にしていただかないと、常設展の評価に、ならないのではないのでしょうか。

**【神野委員長】**

300円払って常設展だけ入るっていう人数はすぐに出るはずなので、その数値は提示していただき良かったですね。

【椎原委員】

常設展のみだけを支払ってる数がすごく少ない、または特別展の中の常設展料金として取ってる部分で、ペイができるのであれば、将来的に市民の利益として、博物館法の無料公開という原則の根拠になる指標が出るのではないかと思います。

今、このコレクション展の評価って言うところと言うと、その辺の数は大事かと思えます。

さらに5-2のところではこれ以上の縮減は難しい費用であるという根拠となる数値が不確定なので、今回では判断できません。

常設展の観覧数が多く、ルーティンの方が見てると言うのは、市民の中に定着しているという指標でもあるので、そこはもっと明確にしたほうが良いように思えます。以上です。

【種谷副委員長】

千葉県の子どもの美術館、博物館が、この1年ずっと閉まっていた中で、千葉市美術館だけは、開館して下さったということは、大変意義のあることだと高く評価したいと思います。

【千葉市美術館】

特に1月からの田中一村展はたくさんの方に来館いただきまして、安全に実施できるか検討いたしました。

東京国立博物館など集客が見込まれるところでも慎重に実施されていまして、そちらを参考にできる限りのことをして開館しておりました。

【神野委員長】

費用対効果のところは事務局の方ともすり合わせをしながら、追加のデータをいただいて、評価を調整できればと思います。ありがとうございました。

1次評価シートのご説明を千葉市民ギャラリー・いなげの方から、よろしくお願いします。

<千葉市民ギャラリー・いなげ説明>

【神野委員長】

それでは討議の前に、事業視察シートの説明を事務局からお願いします。

<事務局説明>

【神野委員長】

桜井委員ありがとうございました。それでは、この事業についての事業の1次評価シートについてご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

水彩画コンクールは地域の市民ギャラリー等では、どちらかと言うと、コンクールをやっておしまいというようなことが多いのに対して、千葉市民ギャラリーいなげは、その地域の資源の掘り起こしということと、それを継続することによって、一つの文化にしようという意識が非常に強いことが感じられます。

市民満足度4-1はアンケートを実施しなかったということで、低くつけていると思いますが、検証方法が未整備ということで今回は仕方がないのかもかもしれません。

ただ、周知に関しては、この予算内ではそんなに批判する必要もないような気がします。3

でいいと思います。

【谷委員】

周辺のコミュニティに住む市民にとって、市民ギャラリー・いなげの存在や活動は誇りであり、千葉市の価値を上げていると思います。市民が気軽に訪れることができる憩いの場でもあると思います。

【椎原委員】

地元の広報媒体などを使用して、地元等に対する戦略的告知を行っていますか。

【千葉市民ギャラリー・いなげ】

毎年稲毛八景ツアー&ランチを行っていましたが、中止となったので、音声ガイドツアー&ランチを行いました。また、稲毛公民館でも稲毛八景の水彩画教室を行いました。

【神野委員長】

5-1が3ですが、色々多角的な取り組みをしていて、活性化について非常に頑張っている印象があるので4でいいと思います。

【関委員】

講評は、応募者全員に個別に行っているのですか。

高校演劇の審査などは、どちらかという受賞をしていない人への講評の方が重要になってきますので。

【千葉市民ギャラリー・いなげ】

受賞されていない方への個別の講評はありません。

【神野委員長】

参加した人たちが、自分が制作したことに対してレスポンスがあると、次の励みになるということは絶対あるので、そういう裾野の人たちに対して手厚くということの方が、より意味を持つかもしれないというご提案かと思います。

音声ガイドツアーの参加者はどのぐらいでしたか。

【千葉市民ギャラリー・いなげ】

13名程度参加者がいました。ランチをつけたのが、参加を難しくしたのかと思います。今年はランチをつけずに、地元の方の音声を入れたりして実施しようと考えています。

【神野委員長】

満足度はアンケートをとってないという理由で、評価が難しいということでこれは現状の3で、あと個人の応募が少なかったということは3でいいような気がします。

さらに、活動の活性化に関しても、講評のお話は課題としてあるにせよ、コロナの状況の中で音声ガイドツアー等、予算規模の中で結構頑張っている印象がありますので、4の評価で良い気がしております。ありがとうございました。

※ 公表はここまでとなります